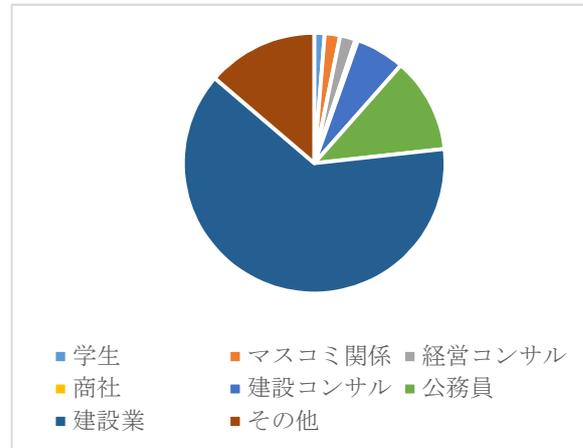


三方良しの公共事業推進フォーラム 2021 参加申込・アンケート調査結果報告

<参加申込者数>

学生	4名	1.3%
マスコミ関係	6名	1.9%
経営コンサルタント	6名	1.9%
商社	1名	0.3%
建設コンサルタント	19名	6.1%
公務員	37名	11.8%
建設業	198名	63.1%
その他	43名	13.7%
合計	314名	100%



<集客活動>

2021年9月22日より本研究会ホームページにてフォーラム特設サイトを公開しWEB申し込みスタイルで実施。パンフレット配布、業界紙・地方紙にフォーラム告知、出演者・関係者のSNS、HP、ブログなどに掲載し集客活動を実施。

<アンケートについて>

本研究会フォーラムとして初めてのWEB配信スタイルであり、今後のカイゼンを目的とし参加者の皆様へアンケートを実施。アンケート依頼はフォーラム終了前の理事挨拶のときに口頭での告知、画面上へ依頼分とQRコードを表示。フォーラム終了後に参加申込者へ回答依頼メールの配信と2段階方式で依頼。

また多くの声を集めるために本研究会理事長の著書、出演者である山崎エリナ氏の写真集を抽選でプレゼントする企画を用意し実施。

<アンケート項目>

1. お名前 ※アンケートプレゼント希望者のみ
2. 性別（選択式）男性・女性
3. お住いの都道府県（記入方式）
4. 年齢（選択式）10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
5. 業種（選択式）
 - 学生・商社・マスコミ関係・経営コンサルタント・公務員・建設コンサルタント・建設業・その他
6. プレゼント希望商品（希望者のみ選択式）
 - 1. 小野貴史 著書 人を育てる～新・日本型経営のすゝめ～
 - 2. 山崎エリナ 写真集 三峰神社 開運ビジュアルブック
 - 3. 山崎エリナ 写真集 インフラメンテナンス～日本列島365日、道路はこうして守られている～
 - 4. 山崎エリナ 写真集 トンネル誕生

- 5. 山崎エリナ 写真集 Civil Engineers 土木の肖像
- 6. 山崎エリナ 写真集 鉄に生きる～サステナブルメタル 電気炉製鋼の世界～
- 7. フォーラム参加目的調査（選択式・一部自由記入）
 - ・三方良しの活動に興味があったため
 - ・出演者に興味があったため
 - ・公共工事の現状とこれからを知りたいから
 - ・主催者・事務局から勧められたから
 - ・その他（自由記入）
- 8. フォーラム満足状況調査（選択式）
 - 満足・やや満足・どちらともいえない・やや不満・不満
- 9. 「満足」「やや満足」と答えた方へテーマ別満足度調査（選択式・一部自由記入）
 - すべて・基調講演・フリートーク事例発表・フリートークディスカッション・その他（自由記入）
- 10. 「やや不満」「不満」と答えた方への調査（自由記入方式）
- 11. 公共工事のイメージについての調査（選択式・一部自由記入）
 - イメージが変わった・これまでと変わらない・その他（自由記入）
- 12. 三方良し目指す公共工事の重要性調査（選択式）
 - とても重要・ある程度は重要・どちらとも言えない・必要ない
- 13. 「とても重要」「ある程度は重要」と答えた方へ実践に向けた内容調査（複数選択式・一部自由記入）
 - ・官民の連携
 - ・地域住民との連携
 - ・ホームページや SNS などを通じた情報発信
 - ・事業の必要性についての積極的な情報公開
 - ・目的・目標などの相互共有
 - ・実行するための時間的余裕
 - ・実行するための資金的余裕
 - ・その他（自由記入）
- 14. 「必要ない」と答えた方への理由調査（自由記入）
- 15. 建設業従事者へ「伝える」ために行っている実践調査（複数選択式・一部自由記入）
 - ・ホームページでの情報発信
 - ・SNS（Instagram・Twitter・FaceBook）の活用
 - ・PR 看板などの活用
 - ・独自で作成した説明資料の配布
 - ・地域住民とのコミュニケーション
 - ・現場見学会
 - ・とくにしていない
 - ・その他（自由記入）
- 16. 今後のフォーラムへの参加希望形態調査（選択式・一部自由記入）
 - ・集合型で参加したい
 - ・WEB で参加したい
 - ・集合&WEB で参加したい
 - ・どちらとも言えない
 - ・参加しない
 - ・その他（自由記入）
- 17. 今後のフォーラムへの希望テーマ調査（自由記入）
- 18. ご意見、感想（自由記入）
- 19. プレゼント希望者への連絡先聞き取り（希望者のみ自由記入）

<プレゼント応募者数と当選者> 応募総数 67 名

商品	応募者数	当選者所在地 (各 3 名)
人を育てる	12 名	新潟県 M 様、新潟県 T 様、沖縄県 O 様
三峰神社	9 名	福島県 M 様、埼玉県 M 様、東京都 M 様
インフラメンテナンス	17 名	東京都 N 様、広島県 A 様、福岡県 S 様
トンネル誕生	3 名	北海道 I 様、埼玉県 S 様、沖縄県 T 様
Civil Engineers	12 名	北海道 K 様、北海道 K 様、北海道 S 様
鉄に生きる	14 名	新潟県 Y 様、愛知県 Y 様、鳥取県 M 様

アンケート結果報告

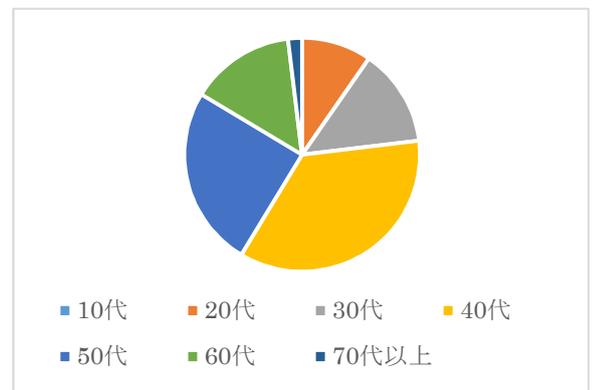
<性別>

男性	84 名	80.8%
女性	20 名	19.2%



<年代別>

10 代	0 名	0.0%
20 代	10 名	9.6%
30 代	14 名	13.5%
40 代	37 名	35.6%
50 代	26 名	25.0%
60 代	15 名	14.4%
70 代以上	2 名	1.9%



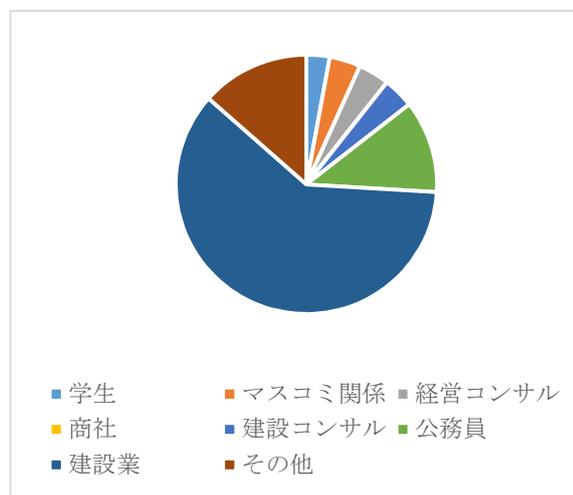
<都道府県別申込者数とアンケート回答者数・回答率>

所在地	申込数	アンケート回答数	回答率
北海道	69 名	24 名	34.8%
福島県	53 名	8 名	15.1%
新潟県	43 名	17 名	39.5%
東京都	36 名	10 名	27.8%
宮城県	13 名	2 名	15.4%
高知県	11 名	5 名	45.5%
岐阜県	9 名	4 名	44.4%
鳥取県	9 名	2 名	22.2%
神奈川県	6 名	3 名	50.0%
愛知県	6 名	3 名	50.0%

熊本県	5名	1名	20.0%
沖縄県	5名	3名	60.0%
茨城県	5名	2名	40.0%
京都府	4名	0名	0.0%
岡山県	3名	3名	100.0%
埼玉県	3名	2名	66.7%
島根県	3名	0名	0.0%
奈良県	3名	1名	33.3%
山口県	3名	1名	33.3%
福岡県	2名	1名	50.0%
愛媛県	2名	2名	100.0%
大分県	2名	2名	100.0%
徳島県	2名	2名	100.0%
広島県	2名	2名	100.0%
栃木県	2名	0名	0.0%
岩手県	2名	1名	50.0%
静岡県	2名	1名	50.0%
山形県	2名	2名	100.0%
長崎県	1名	0名	0.0%
富山県	1名	0名	0.0%
福井県	1名	0名	0.0%
三重県	1名	0名	0.0%
鹿児島県	1名	0名	0.0%
宮崎県	1名	0名	0.0%
海外	1名	0名	0.0%
合計	314名	104名	33.1%

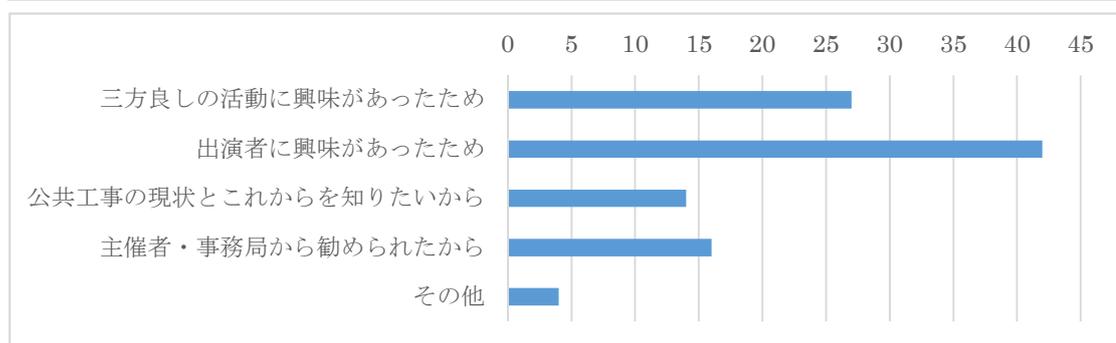
<業種>

業種	回答数	比率	プレゼント
学生	3名	2.9%	3名
マスコミ関係	4名	3.9%	3名
経営コンサルタント	4名	3.9%	3名
商社	0名	0.0%	0名
建設コンサルタント	4名	3.9%	4名
公務員	12名	11.5%	9名
建設業	63名	60.6%	37名
その他	14名	13.5%	10名
合計	104名	100%	69名



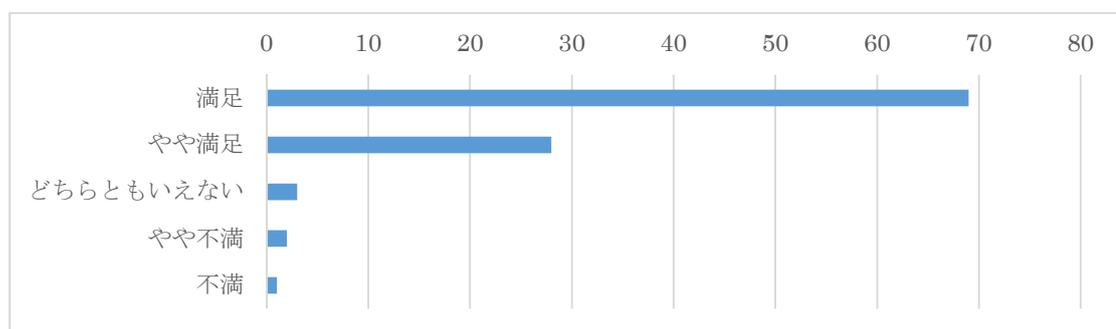
<フォーラムに参加された目的> 回答数 103

三方良しの活動に興味があったため	27名	26.2%
出演者に興味があったため	42名	40.8%
公共工事の現状とこれからを知りたいから	14名	13.6%
主催者・事務局から勧められたから	16名	15.5%
その他	4名	3.9%
土木の広報に興味があったため		
仕事を通じて知り合った方からの紹介		
公共事業の伝え方に興味があった為		
取材のため		



<フォーラムに参加していかがでしたか> 回答数 103

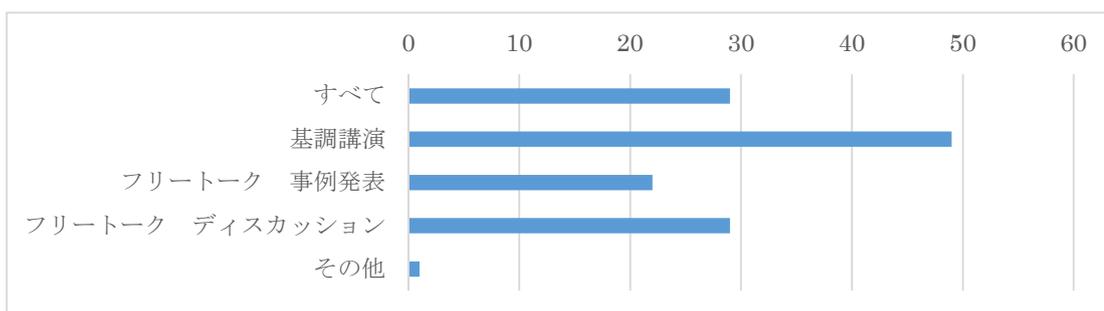
満足	69名	67.0%
やや満足	28名	27.2%
どちらともいえない	3名	2.9%
やや不満	2名	1.9%
不満	1名	1.0%



<満足、やや満足の方、どのテーマに満足いただけましたか> 回答数 130

すべて	29名	22.3%
基調講演	49名	37.7%
フリートーク 事例発表	22名	16.9%
フリートーク ディスカッション	29名	22.3%
その他	1名	0.8%

全体として大変満足致しました。官民、学生が連携してこのようなフォーラムを実施することは建設業界として今後より広げて行かなければいけないと感じました。またマツさんの基調講演は感動しました。3回拝見いたしました。



<やや不満、不満の方、理由をお聞かせください> 回答数 4

フリートークがダラダラとしていた。自己紹介が長かった。コーディネーター役が上手く機能していなかった。建設業以外の方の自社のPRが長すぎた。
フリートークはもっと事例をからめた討論に時間を割いてほしかったです。
外に向けて発信も重要ですが、働く人々がやりがいを感じる職場に変えていくことのほうがもっと重要ではないかと考えます。内側を変えましょう。
自己紹介が長い

<フォーラムを通じて感じた公共事業のイメージをお聞かせ下さい> 回答数 98

イメージが変わった	49名	50.0%
これまでと変わらない	41名	41.8%
その他	8名	8.2%

伝え方の重要性を改めて思った

イメージに変化はありませんが知らなかった部分や各々の立場で努力されている部分を学びました。改めてその必要性、そして発信の意義と勘所への認識を新たにできました。

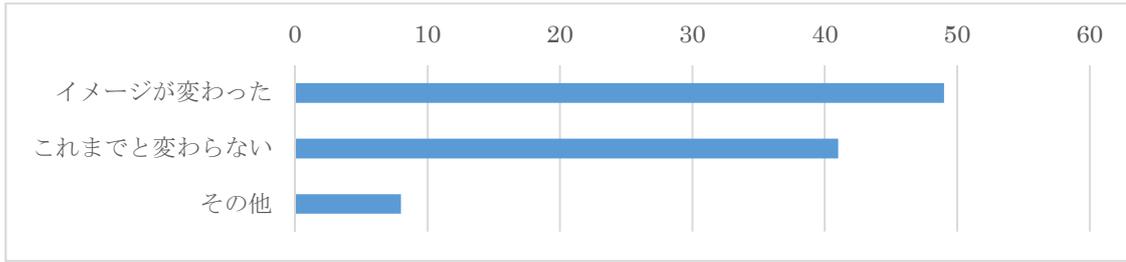
改めて、建設業における広報について考えさせられるものがあった。考えて終わりではなく、具体的な行動に移していきたい。例えば YOUTUBE で動画を配信したりとか。

情報の発信不足を痛感させられた

公共工事に携わっているための「これまでと変わらない」

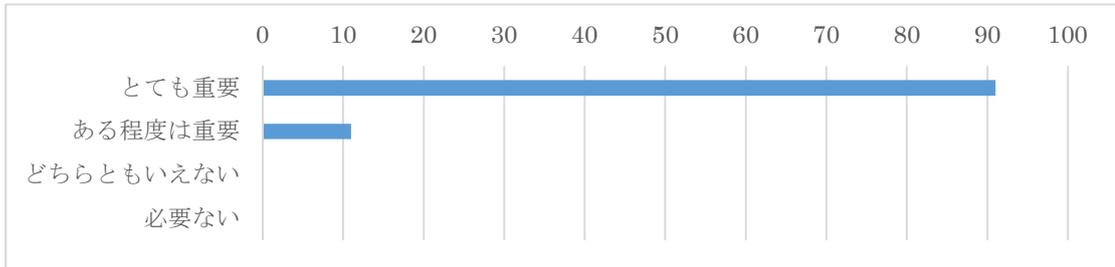
素人には気づきにくい背景にも配慮して進められている繊細なイメージ。

僕自身、建設業で日本を明るくするをモットーに日々公共工事に携わっております。ですので、おこがましいのですが、自分以外にも頑張っている方の姿を見て大変嬉しく思っています。



<三方良し目指す公共工事について> 回答数 102

とても重要	91名	89.2%
ある程度は重要	11名	10.8%
どちらともいえない	0名	0.0%
必要ない	0名	0.0%



<とても重要、重要の方、実践するために必要と思うこと> 回答数 365

官民の連携	68名	18.6%
地域住民との連携	81名	22.2%
ホームページ・SNSなどを通じた情報発信	62名	17.0%
事業の必要性についての積極的な情報公開	68名	18.6%
目的・目標などの相互共有	48名	13.2%
実行するための時間的余裕	17名	4.7%
実行するための資金的余裕	16名	4.4%
その他	5名	1.4%

マツさんの基調講演でもありましたが、公共事業も建設業も万能ではないが、これだけのことができるという定量的な説明が必要だし、それが最適だと今のところ考えてます。

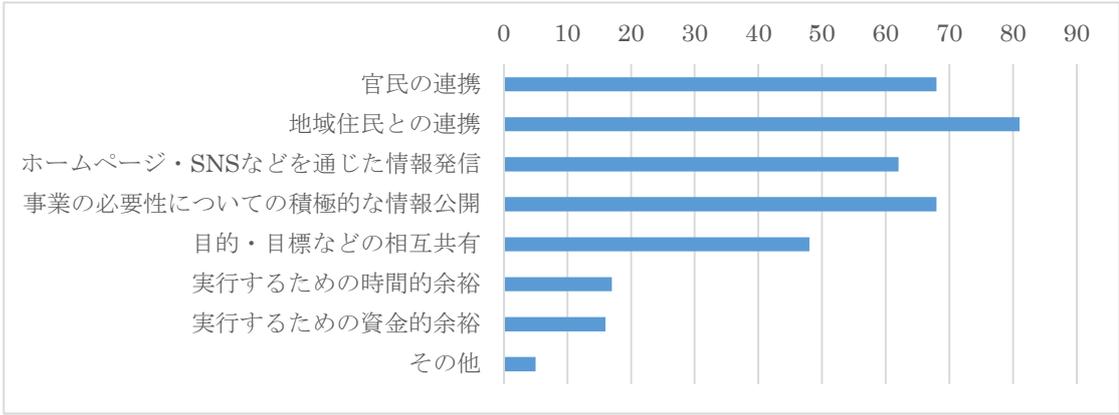
工事によって得られるデータのオープン化

事業の効果についての積極的な情報発信 (ex.事故対策)

素人にもわかりやすい情報公開

敢えて意見具申させていただきます。この未曾有の人手不足、少子高齢化の中で建設業は他業種よりも危機的な状況にあります。官民連携し、品確法、改正建設業法を施行致しましたが、運用の実態はまだまだです。国交省さんの若手もまだまだ残業が減っていないですし、現場では越年、繰越がまだまだ難しい状況です。概略発注は致し方ありませんが、フレキシブルな工期変更をして頂く事が、三方の一旦を担う受注者の若手、発注者さんの若手の為だと感じております。官民一体となって真

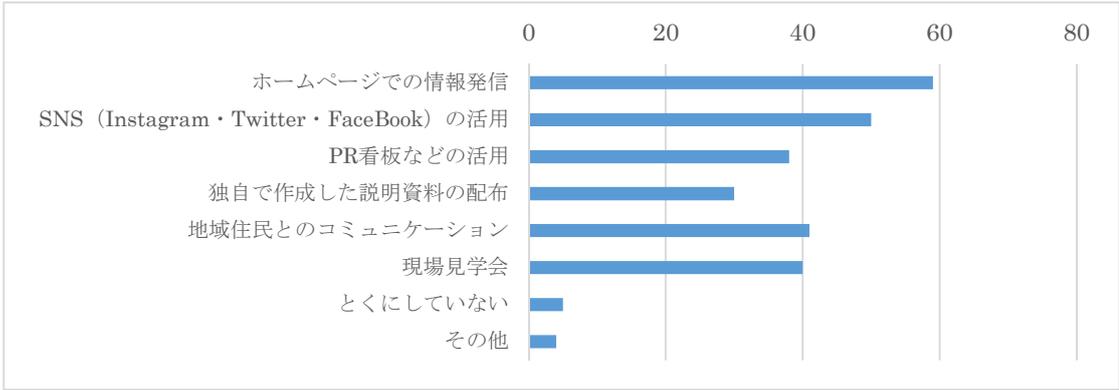
の働き方改革を遂行していければと思います。



<必要ない方、その理由をお聞かせください> 回答なし

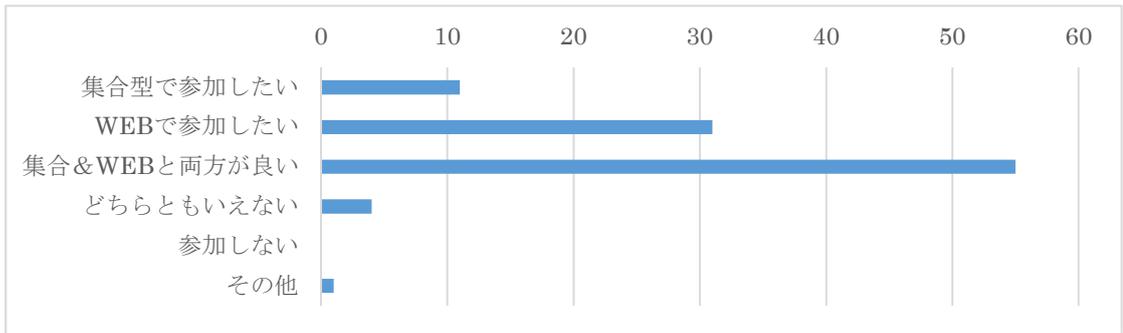
<建設業界に従事する方、伝えるために実践していることはありますか> 回答数 267

ホームページでの情報発信	59名	22.1%
SNS (Instagram・Twitter・FaceBook) の活用	50名	18.7%
PR看板などの活用	38名	14.2%
独自で作成した説明資料の配布	30名	11.2%
地域住民とのコミュニケーション	41名	15.4%
現場見学会	40名	15.0%
とくにしていない	5名	1.9%
その他	4名	1.5%
研究成果の学会発表 (※一般の方には伝わらない)		
情報オープンスペースの開設		
小学校でのキャリア教育の講師		
<p>「石男君の建設チャンネル」を運営しております。近年良くなった建設業界、並びに建設業の魅力を発信するべく頑張っております。国交省さんにはお聞き苦しい動画もあるかもしれませんが、ぜひ一度ご覧いただけたらと思います。全国から相談を受けたり、講演にも繋がり様々な方の意見をお聞きすることができました。採用としても、Uターン、Iターンして頂き関東からも大学生の採用に繋がっております。</p>		



<今後のフォーラムについて> 回答数 102

集合型で参加したい	11名	10.8%
WEBで参加したい	31名	30.4%
集合&WEBと両方が良い	55名	53.9%
どちらともいえない	4名	3.9%
参加しない	0名	0.0%
その他	1名	1.0%



<今後のフォーラムで取り上げてほしいテーマ> 回答数 39

人材採用、育成、ICT 施工
経営者討論会
三方よし実現への現場運営
30年後の公共事業の姿（サブタイトルとして） ・生産年齢人口の減少とデジタル化の融合 ・地域におけるインフラのダイエットの可能性
・官民連携や地域住民との連携について ・広報について（もっと聴きたかった）
産官学の連携
事業の立ち上げ、事業化までの経緯
これからの公共事業の在り方
土木マニアとの連携
持続可能な社会 SDG s に関する項目
大企業、中小企業、官公庁の人材、人財をどのように求めているか、採用しているか。今後の希望。ICT化が進むにつれ人財の多様化が必要不可欠になっているとおもいます。それについてどのように対応しているか、どれくらい出来ているかの真実が知りたい。
建設 DX
高校生にターゲットを絞った建設業の魅力発信の方法
情報共有の仕組み
建設業界の今後の就労環境整備について
担い手不足と技術継承
行政との連携項目について

建設業の担い手確保や技術継承について
地域連携の先進具体例を複数紹介してほしい
人材教育について
建設業と第1次産業とのコラボ・連携
女性の活躍
住民目線（住民が必要な）での公共事の在り方
参加者も意見交換できる時間を設けてほしい
他県の地域住民とのコミュニケーション事例をもっと聞いてみたい。
有名な方のこれまでの人性などの生き方のフォーラム
若手技術者の苦悩
「情報発信」を継続してほしい（多様な事例と”人”の紹介）
誰にでも出来る公共工事のPR方法の進め方(レベルに合わせたステージ方式)
建設技術者の能力を最大限に発揮させる環境整備
土木の省人化はどこまで進むか？ IT化・プレキヤス化の限界は？ 省人化時代において技能者に求められるものは？
インフラメンテナンスの現状(特にスキーム上の課題など)
「公共工事の伝え方～実践編～」。下請けの立場であることが多い会社では、地域住民の理解を得るための工事情報の周知よりは人材確保のための広報活動になると思います。若い方に働くイメージを膨らませてもらえるよう、現場で働く社員の姿を発信したいのですが、特に公共工事の現場で撮影した写真や動画をHPやSNSに掲載するのは制約が多く、難しさを感じています。もちろん現場ごとにそのあたりの寛容さは変わってくると思うのですが、発注者・元請の方々の目を気にして広報を諦めがちな会社向けに、発注者目線からの広報のOK・NGポイント（写真の撮影ポイント、掲載して良い情報等）、下請け業者の発信に対する考え方等を教えていただけるような機会があると嬉しいです。
建設業の働き方改革、採用、人材育成
永久就職できる建設業になるには。
公共工事ですぐに行った伝え方の成功事例の紹介と伝え方のポイントについて
働き方改革、CCUSについてお願いします。
各社がそれぞれどんな取り組みをしているかについて
SDGsと公共事業

<ご意見、ご感想> 回答数 48

本日は誠にありがとうございました。
マツさんのお話が理論整然として建設業を知らない方にも分かりやすいのではと感じました。企画、準備、運営お疲れさまでした。
松永さんのお知らせを拝見して参加しました。公共事業の伝え方を研究したいと考えており、とても勉強になりました。
本日の基調講演、フリートーク共に勉強になりました。情報過多の時代にいかに伝えたいことを発信

<p>するのか？伝えるのか？の難しさを考えさせられました。その一方で写真1枚でもメッセージを伝えられる技術もあり、誰に何を訴えていくのかの重要性を認識できた時間でした。本当にありがとうございました。次の講演も楽しみにしています。</p>
<p>土木広報の手法について、色々とヒントをもらうことができました。特に宮内さんの「微力ではあるが無力ではない」と言う言葉が印象的でした。小さなことでも続けることが大事。皆が小さなことを始め、それが広がっていくことで、業界全体の雰囲気が変わっていくような気がしました。</p>
<p>自己紹介が長くディスカッションの時間が削られたことが残念でした。梶谷さんと宮内さんの話をもっと聞きたかった。</p>
<p>今、学生に建設業界の魅力を伝える仕事をしており、フォーラムに参加し、今後の伝え方について大変参考になりました。フォーラムに参加したことにより、自分がしてきたことが未来につながっていたことを含め、魅力を伝えていきます。</p>
<p>フリートークディスカッションは新たな情報発信の事例等があり楽しかった。</p>
<p>運営お疲れ様でした。動画は現在保存されていますがぜひ残しておいてください。</p>
<p>基調講演の松永様を始め、フリートークの皆様の言葉に力があり、大変刺激を受けました。また、若手を育てようという気持ちも感じられ、応援したい気持ちになりました。建設業に携わる一員として自身もできることから始めなくてはならないと改めて思いました。ありがとうございました。</p>
<p>伝え方、伝わり方、大事だと思います。</p>
<p>脱炭素の動きが活発ですが、日々の社会活動の中で関われることについて議論が必要です。</p>
<p>仕事の歴史を知ることや、情報を発信することでモチベーションアップになると思いました。</p>
<p>コロナ禍で、非常に苦勞されたと思います。非常に有意義な機会をいただきありがとうございました。</p>
<p>ある程度地域を絞った交流会も面白いと感じます。(地域ネタ)</p>
<p>フリートークの部分でもう少し皆さんで感想を言い合ったりする方が良かった気がします。</p>
<p>宮内さんと梶谷さんのトークに感動しました。</p>
<p>ディスカッションの時間をもう少し長くしてほしいです</p>
<p>もっとトークディスカッションが見たかったです。</p>
<p>三方良しということで、土木とはほとんど無縁なシティ情報ふくしまの方や、映像作家の方からの意見を聞くことができるとも為になった。自分の取り組みを発信するときにはどうしても自分よがりになってしまうので、聞き手がどうしたら興味を持ってくれるのか、発信の仕方は紙でいいのか、SNSにすべきなのかなど、発信する方も、工夫をしていかないといけないと改めて感じる事ができた。</p>
<p>今後も継続して下さい。よろしくお願いいたします。</p>
<p>マツさんの講演に感銘を受けました。もっとたくさんお話を伺いたいと思いました。また、自分も仕事でなにか貢献できることがないものか、意識していきたいです。</p>
<p>私は来年の4月から社会人として建設業界に携わるが、発注者に応えるだけでなくその地域住民との連携の重要性を認識できました。まだまだ勉強不足であるため、配属された地域の地形地質の理解だけでなく文化や伝統も理解を深めていきたいです。また、交流する機会としてこのようなフォーラムに積極的に参加していきます。</p>

<p>今後、このような機会がありましたら、積極的に参加したいです。</p>
<p>業務の都合で、主に前半しかしっかりと聴講できなかったのですが、大変役立つ情報を上手に印象的にお伝えいただき、きわめて参考になりました、本当にありがとうございます。やはり、東北震災でのインフラの果たした役割、そして、そもそもその計画論の段階での意思決定や合意形成の大切さ、住民との意識のすり合わせが、大切だなと。また、その施工中も、更には維持管理機関においても、そういった過去の思いを改めて思い出す、語り継ぐことが大事だと感じました。やはり、必ずやってくる危機を前提に構想を立て、その中でその土地が地域がもたらしてくれる恩恵を感じていく（日頃の恩恵や、晴日のお祭りなど）ことのつながりをにう建設業というのが大切なんだろうな…とあらためて感じました。本当にありがとうございました。</p>
<p>とても楽しく拝見させていただきました。</p>
<p>フリートークのコーディネーターが素晴らしかった（企画に感謝）。</p>
<p>メール致しましたが、YouTubeで画像が粗くなったりフリーズした時間があり、全てを見ることが出来ませんでした。再度公開して頂けないでしょうか。よろしくお願いします。</p>
<p>もう少しフリートーク、ディスカッションが見られたら良かったと思う。</p>
<p>フリートークの司会の方、学生とは思えないほどしっかりと話し方をしていてよいと思いました。若い方も携わったよい会でまた聞きたいと思います。司会の女性も初々しくて可愛かったですね。</p>
<p>相手には情報は基本伝わっていないことを前提に伝えるやりかたを考えるべきと言う意見がとても印象に残っています。自分も会社の中で情報を発信する仕事をしていますが、仕事に関わる重要な情報であるにもかかわらず全く見ていないスルーしている人が多いですでも今後はもっとそういう人にも伝え方を工夫して少しでも伝わるように考えていきたいと思います。今回は情報の伝え方について非常に多くの気づきをいただけたので非常にありがたいと思っていますありがとうございました</p>
<p>本フォーラムの継続を切に希望します。</p>
<p>情報を受け取る側のニーズに寄り添って、考えて試して動いていく姿勢。 宮内常務のお話、あらめて見習いたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>出演者みなさんの得意分野やご意見など多彩で、このフォーラムの中だけでも様々なヒントを得られました。このような取り組みが広がるとよいと思います。</p>
<p>こうした活動は地道な継続が必要です。主催されている方々に敬意を表します。</p>
<p>建設業の大切さを改めて感じた講演でした。もっと重要性をアピールしていくことが課題です。 ありがとうございました。</p>
<p>質疑応答の時間があればよかったかなと思います。</p>
<p>本質的価値のアピール、公共事業で命は救えるに共感しました。</p>
<p>大変貴重な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。</p>
<p>この度のフォーラム、大変お疲れ様でした。とてもよいフォーラムだったと思います。当日参加できなかった方や、私のように途中までしか見れなかった方、振り返ってみたい方などもいると思いますので、可能であれば、アーカイブ化（録画映像の配信）をお願いできれば幸いです。ご検討お願いいたします。</p>
<p>基調講演の Matsuzaki さん、フリートークの浅尾さまのお話が、非常に興味深く、たいへん参考になりました</p>

た。ありがとうございました。
「プレゼントは相手の喜ぶものを送る」から、相手の気持ちを知ることが大事だと感じました。
大変な有意義なフォーラムでありました。世間ではSDGSに向けて様々な業界が発信しております。我々建設業界の力なくして持続可能な社会は達成しないと思っています。こういった取り組みに向けてぜひ業界アピールをし続けて頂けたらと思いますし、自分自身も微力ながら業界貢献していきたいと思っています。
事務局の皆様、大変素晴らしい講演会ありがとうございました。これからも活動を続けていっていただければと思います。また、同様の講演会や様々な活動をおこなっている団体もありますので、それらの団体とコラボした企画などを計画してみたいかでしょうか。
今回のパネルディスカッションは大変有意義なものでしたが、あれだけ時間を取ってもまだ時間足りなかったと思います。同タイトルで2回目のフォーラムを開催して頂けないでしょうか？
ディスカッションの時間が短かった。情報誌とアニメ制作の自己紹介は短くしてディスカッションに有意義な時間を使ってほしかったことが残念でした。コーディネータと司会は若いのに素晴らしかった。
視聴させていただきありがとうございました。日ごろは、北海道内の担当地域に重点を置いて取材しておりますが、世界の水道インフラ整備状況など、視野を広げる貴重な機会となりました。
とても面白く拝聴しました。ありがとうございました。

<事務局より>

大変お忙しい中、「三方良しの公共事業推進フォーラム 2021 福島」をご視聴頂いた皆様、ご登壇頂きました皆様、本フォーラム開催にあたりご助力頂いた皆様、厚くお礼申し上げます。またフォーラム終了後にはアンケートにご協力頂いた皆様からたくさんの声をいただくことができ深く感謝申し上げます。

314 名の方からお申込みを頂き、当日は 170 名ほどの視聴アクセスを頂くことができました。皆様より頂いた声はしっかりと次年度開催に向けカイゼンを図るとともに、さらに喜んで頂けるようなフォーラムを開催できるよう理事、事務局で検討して参ります。

2022 年度は高知での開催を目指しております。環境変化によって様々な課題が起こる可能性はございますがアンケートでも頂いたように集合型だけでなく来年度も WEB 併用で検討していく予定です。フォーラムテーマについてはこれから内容を検討していきますが、皆様より頂いたご要望や課題を取り入れお役に立てるフォーラムとしていきたいと考えております。

具体的になりましたら当研究会ホームページなどでご案内させていただきます。